

2012年11月28日

各 位

藤枝市と中外製薬工業の災害時における 一時避難・災害復旧活動への協力に関する協定の締結について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）の100%子会社である中外製薬工業株式会社〔本社：東京都北区／代表取締役社長：高畠久幸〕（以下、中外製薬工業）は、地震等をはじめとする大規模な自然災害およびそれに準ずる緊急事態が発生した場合の協力措置について、静岡県藤枝市〔市長：北村正平〕と「災害時における一時避難・災害復旧活動への協力に関する協定」を締結することになりましたのでお知らせいたします。

中外製薬工業藤枝工場は、1971年の設立以来、地域の皆様と連携を保ちながら事業活動を続けて参りました。今般、地域の安全確保に向け積極的な役割を果たすため、藤枝市の防災対策に協力することにいたしました。

協定の主な内容としては、藤枝市からの協力要請があった場合、中外製薬工業は藤枝工場の固形剤棟2階の一部を、藤枝市または同市の近隣地区住民の方の一時的な避難場所として提供するとともに、一時避難された住民の方100名が1泊避難するために必要とする食料、水および生活用品を、無償で提供することが約束されています。また、藤枝工場のグラウンドなどの空きスペースを、災害復旧活動の用地等として提供することも盛り込まれています。

中外製薬グループは、生命関連企業の責務として、大規模震災の発生時においても医薬品の安定供給に努めるとともに、地域との協調を社会貢献の一環として積極的に取り組んでいます。今回の協定が藤枝市や工場周辺にお住まいのみなさんの防災のお役に立てることを願うとともに、引続き地域の皆様に貢献できるよう取り組んで参ります。

以上

<ご参考>

中外製薬工業について

中外製薬工業は、中外製薬が100%出資する生産に特化した中外製薬グループのメンバーとして2006年5月に設立しました。世界最高レベルのバイオ医薬品の原薬・製剤一貫生産体制を敷く宇都宮工場、バイオ医薬品の原薬生産拠点である浮間工場、そして最新鋭の固形剤生産ラインを保有し、合成医薬品の原薬・製剤一貫生産体制を敷く藤枝工場の3拠点を、生産技術の強化と資源の集中化に取り組んでいます。

中外製薬工業に関する詳しい情報は、<http://cpmc.chugai-pharm.co.jp/>をご覧ください。

<藤枝工場 概要>

- ・ 操業開始：1971年
- ・ 敷地面積：216,803m²
- ・ 所在地：〒426-0041 静岡県藤枝市高柳 2500
TEL：054-635-2311 FAX：054-635-8140
- ・ 環境マネジメントシステム ISO14001（1998年6月取得）

<藤枝工場（固形剤棟） 外観>

